



## CHAPTER 2

# インターフェイス

この章では、RFSS Network Controller (RNC) インターフェイスについて説明します。次の内容が含まれています。

- 「RNC インターフェイス」 (P.2-1)
- 「ユーザの表示と RNC ロギング」 (P.2-2)

## RNC インターフェイス

RNC には、次の 3 つのメイン インターフェイスがあります。

- 「RNC から NLR へのインターフェイス」 (P.2-1)
- 「RNC からローカル RFSS 内のサイトへのインターフェイス」 (P.2-1)
- 「RNC から他の RFSS へのインターフェイス」 (P.2-2)

## RNC から NLR へのインターフェイス

RNC は、IP ベースのインターフェイスを使用して NLR (Network Location Register) と通信します。RNC は、このインターフェイスを使用して、その無線周波数サブシステム (RFSS) をホームとするサブスライバおよびグループのプロファイルにアクセスします。このインターフェイスはまた、この RFSS 内でローミングしているモバイル ユニットののために、訪問しているサブスライバの情報を更新したり、取得したりするためにも使用されます。

## RNC からローカル RFSS 内のサイトへのインターフェイス

RNC は、ローカル RFSS 内のネットワーク要素にインターフェイスします。これらには、次のものが含まれます。

- BSC (ベース ステーション コントローラ)。
- ソフト無線。
- PSTN ゲートウェイ。
- ネットワーク管理システム。
- デジタル音声レコーダ。
- コンソール アプリケーション。

このインターフェイスは、ローカル RFSS 内のサイトに必要な機能を提供するために、SIP（セッション開始プロトコル）および RTP（リアルタイム転送プロトコル）ベースのプロトコルによる APCO P25 ISSI 標準の拡張に基づいています。このインターフェイスは P25 標準では定義されていませんが、ローカル RFSS 内の ISSI を拡張してローカル サイトのさらに詳細な制御を可能にするために使用される、適切に定義されたインターフェイスです。

## RNC から他の RFSS へのインターフェイス

RNC と他 RFSS の間のインターフェイスは、APCO P25 ISSI 標準スイートで定義されています。



(注)

完全な CSSI をサポートするコンソールは、実質的に、RNC には別の RFSS インターフェイスとして認識されます。

## ユーザの表示と RNC ロギング

RNC は通常、Commercial Off The Shelf (COTS) PC 上で動作するため、ステータス表示は使用されているハードウェア、つまり、電源、ハードディスク、およびネットワーク アクティビティのステータスによって示されます。RNC の動作に関するより詳細な情報が必要な場合は、そのログを参照できます。最新のイベントをすばやく確認するために、ディレクトリ `/home/RncUser` にシェル スクリプトが用意されています。これを行うには、次のコマンドを実行します。

```
bin/tail_latest.sh log/Rnc.log
```

ログはディレクトリ `/home/RncUser/log` に保存されます。RNC は、ロギング出力をファイル `Rnc.log` に書き込みます。RNC ログは、`Rnc.log.YYYYMMDD` の形式をした、日付がスタンプされたファイルに毎日ローテーションされます。たとえば、ファイル `Rnc.log.20081127` には 11/27/2008 のログが含まれています。デフォルトでは、ログ ファイルは、削除されるまでに最大 30 日間保持されます。

各ファイル内では、RNC のすべてのフィーチャ モジュールからログ メッセージが累積されます。各エントリには、発生元の RNC の部分を示すラベルが付けられ、さらに表 2-1 に示す 0 ~ 4 の範囲の重要性が示されます。

**Error!Reference source not found.lists.**

表 2-1 に、ログ エントリ レーティングの一覧の説明を示します。

表 2-1 ログ エントリ レーティングの一覧

索引	説明
0	例外的なメッセージ/重大なエラー
1	警告および異常なプログラム動作
2	通常の動作
3	詳細出力。問題のないメッセージ
4	デバッグ出力。最も基本的なレベルの動作

また、各ログ エントリには時刻と日付のスタンプ情報も含まれるため、次の形式の出力が得られます。

```
YYYY-MM-DD HH:MM:SS.mmm CATEGORY(Level) <Log Message>
```

定義：

YYYY は年

MM は日付 (01 = 1 月、12 = 12 月)

DD は日付 (01 ~ 31)

HH は時間 (00 ~ 23)

MM は分 (00 ~ 59)

SS は秒 (00 ~ 59)

mmm はミリ秒

実際のログ ファイルでのこの出力の例を次に示します。

```
2008-11-18 12:36:27.264 RNCC(0) Version - Rnc: 02.04.000 RELEASE
```

